

平成 2 3 年 度

# 島根県自主防災組織リーダー研修会

主催	島根県 財団法人日本防火協会
後援	総務省消防庁
期日	平成 2 3 年 1 1 月 1 2 日 ( 土 ) ・ 1 3 日 ( 日 )
場所	島根県立青少年の家サン・レイク ( 出雲市小境町 1 9 9 1 - 2 )

# 平成23年度自主防災組織リーダー研修会 日程

会場：出雲市小境町1991-2  
島根県立青少年の家サンレイク  
多目的ホール

1日目 平成23年11月12日(土)

日	時間		項目	講師	備考
11 月 12 日 (土)	11:00 ~ 11:30		受付		
	11:30 ~ 12:30	60分	昼食		
	12:30 ~ 13:10	40分	開講式	島根県総務部消防防災課	
			オリエンテーション	島根県立青少年の家 島根県総務部消防防災課	資料1
	13:10 ~ 14:20	70分	講義「自主防災組織とコミュニティづくり」	関西学院大学人間福祉学部 山 泰幸(よしゆき) 准教授	資料2
	14:30 ~ 15:40	70分	講義「防災・減災と男女共同参画」	(特活)NPO政策研究所 元・神戸新聞論説委員 相川 康子 専務理事	資料3
	15:50 ~ 16:20	30分	講義「防災気象情報の基礎知識」	松江地方気象台 防災業務課 春海 孝 課長	資料4
	16:20 ~ 16:40	20分	講義「自然災害への備え」	島根県土木部砂防課 橋本 眞也 企画幹	資料5
	16:45 ~ 17:15	30分	防災活動の事例 「瀬戸内市の地域防災推進について」	岡山県瀬戸内市 総務部総務課地域安全推進室 松井 隆明 主事	資料6
	17:15 ~ 19:00		夕食		
19:30 ~ 22:00		交流会 (別途 任意参加)			

2日目 平成23年11月13日(日)

11 月 13 日 (日)	07:30		宿泊室点検		
	07:30 ~ 08:30	60分	朝食		
	08:30 ~ 09:40	70分	講義「近年の豪雨災害と災害情報の利用」	静岡大学防災総合センター 牛山 素行 准教授	資料7
	09:50 ~ 11:00	70分	講義「地域防災のすすめ方」	山口大学大学院 瀧本 浩一 准教授	資料8
	11:00 ~ 12:00	60分	演習「災害図上訓練(T-DIG)」	山口大学大学院 瀧本 浩一 准教授 NPO法人 ぼうぼうネット 山崎 隆弘 事務局長	資料9
	12:00 ~ 12:40	40分	昼食		
	12:40 ~ 15:40	180分	演習「災害図上訓練(T-DIG)」 (続き)	(同上)	
			(防災ワークショップの運営)		
15:45 ~ 16:00	15分	閉講式	島根県総務部消防防災課		

## 講師紹介

講義：12日（土）13：10～14：20

演題：「自主防災組織とコミュニティづくり」

### 山 泰幸（やま よしゆき） 関西学院大学人間福祉学部准教授

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。関西学院大学社会学部助教授などを経て、2008年関西学院大学人間福祉学部准教授。社会学博士。現在、関西学院大学災害復興制度研究所運営委員・研究員及び関西学院大学観光学・まちづくり研究センター長を兼務。文部科学省科学研究費補助金「中山間地における孤立集落の事前復興に関する災害復興学的研究」研究代表者。

専門は、民俗学・社会学。地域コミュニティ、まちづくりに関する調査研究。

著書に『追憶する社会』（新曜社 2009）、共著に『環境民俗学』（昭和堂 2008）、『災害復興』（2005年 関西学院大学出版会）、『文化遺産の社会学』（新曜社 2002）など。論文に「『象徴的復興』とは何か」『先端社会研究』5号（2006）など。



講義：12日（土）14：30～15：40

演題：「防災・減災と男女共同参画」

### 相川 康子（あいかわ・やすこ）

1965年、京都生まれ。筑波大学比較文化学類を卒業後、男女雇用機会均等法施行後の1期生として、神戸新聞社（兵庫県内の地方紙）に入社。社会部、生活部、情報科学研究所、論説委員室など約20年間後勤務し、2007年9月に退社。同年10月～2010年9月まで神戸大学経済経営研究所准教授。同年10月より現職。

新聞社勤務時に阪神・淡路大震災（1995）を経験。主に、市民救援活動や環境問題、女性問題、まちづくり等を中心に、災害報道に携わる。2001年3月から退社までの6年半は、担当論説委員として、防災・減災、復興まちづくり全般に関する社説を担当した。

自治体学会運営委員、コミュニティ政策学会会員。兵庫や大阪の複数の自治体で、総合計画や自治基本条例、地域自治、市民活動推進に関する審議会や委員会に携わる。

講義：13日（日）08：30～09：40

演題：「近年の豪雨災害と災害情報の利用」

## 牛山 素行（うしやま・もとゆき）

静岡大学防災総合センター 副センター長・准教授



### 略歴

長野県生．信州大学農学部卒業(最終学歴は岐阜大学大学院連合農学研究科修了\*1)．東京都立大学客員研究員，京都大学防災研究所助手，東北大学災害制御研究センター講師，岩手県立大学総合政策学部准教授などを経て，2009年4月より現職．博士(農学)\*2，博士(工学)\*2，土木学会認定上級技術者(防災)．

\*1 組織上は信州大学に正式に配置され，岐阜大にはほとんど行ったことはありません．

\*2 現在は「農学博士」「工学博士」という学位は発行されません．私の場合「博士(農学)」「博士(工学)」となります．

### 役職等

中央防災会議専門委員(内閣府)，大雨災害における避難のあり方等検討委員会委員(内閣府)，緊急防災情報に関する調査委員会委員(内閣府・消防庁・気象庁)，日本自然災害学会評議員，日本災害情報学会学会誌編集委員会副委員長，京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員，災害情報協議会アドバイザー(国土交通省岩手河川国道事務所)，防災対策推進アドバイザー(静岡県袋井市)などを歴任．平成15年度日本自然災害学会学術賞受賞，2009年度日本災害情報学会廣井賞(学術的功績分野)受賞．

### 専門分野

自然災害科学および災害情報学．豪雨災害を中心として，全国各地の災害時の現地調査に取り組み，災害情報の伝達や避難行動などの調査研究を行っている．個人ホームページ <http://disaster-i.net/>，メールマガジン，ブログ，ツイッターでも発信している．

### 著書

牛山素行，2008:豪雨の災害情報学，古今書院

講義・演習：13日（日）09：50～15：40

演題：「地域防災のすすめ方」 及び 「災害図上訓練（T-DIG）」

氏 名：瀧本浩一（たきもとこういち）  
所 属：山口大学理工学研究科環境共生系学域 准教授  
宇部看護専門学校 非常勤講師  
学 位：博士（工学）  
専 門：防災教育、防災とまちづくり  
所属学会：土木学会、日本建築学会、自然災害学会等



### これまで就任した委員等

- ・ 消防庁災害時要援護者の避難対策に関する検討会 委員
  - ・ 国土交通省社会資本整備審議会 河川分科会 専門委員
  - ・ 佐波川の未来を考える学識経験者の会（佐波川整備計画検討委員会）委員
  - ・ 小瀬川のこれからを考える会（小瀬川整備計画検討委員会）委員
- 他

### 社会貢献

- ・ NPO 法人ぼうぼうネット理事長
- ・ 福岡県安全安心まちづくりアドバイザー
- ・ 佐賀県総合防災アドバイザー

### 受 賞

- ・ 平成 19 年河川功労賞
- ・ 平成 18 年度総務省防災まちづくり大賞：消防庁長官賞受賞
- ・ 平成 16 年度防災功労者防災担当大臣表彰受賞

### 講 演

#### [防災関連]

消防庁出前講座、消防大学校講座、山形県、福島県、新潟県、東京都、滋賀県、岡山県、福岡県、大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県等  
仙台市、狛江市、寝屋川市、呉市、益田市、佐賀市、北九州市、久留米市等

#### [防犯関連]

福岡県、熊本県、大阪市、浜田市

## 山崎 隆弘（やまざきたかひろ）

山口県防府市出身。1958年3月2日生まれ

徳山大学経済学部経済学科卒

家族 爺婆妻子（長男1長女1）の6人



### 地域活動

平成6年に地域づくりの手法である「ワークショップ」とめぐり合い、地域住民が主役のまちづくり活動を支援するまちづくりグループ（黒子型）を立ち上げ、山口県内を中心に「地域活性化・元気づくり」の活動（アクション型）を積極的に進める。

平成16年に山口大学瀧本浩一准教授と連携して、地域防災活動を支援する中間支援組織である防府／防災ネットワーク推進会議（会員32名）を立ち上げ、災害図上訓練（DIG）の手法を活用した地域防災ワークショップや国交省山口河川国道事務所と連携した流域を対象にした地域住民参加の発災対応型（シナリオなき）訓練の企画・運営の支援を行ってきた。

防府市佐波川流域を襲った7.21豪雨災害の復興復旧活動の拠点である災害ボランティアセンターの初動対応、設立、運営に関わる。

平成21年11月に特定非営利活動法人ぼうぼうネット（瀧本浩一理事長）を設立する。設立を期に会社を退職し、事務局長として専従することになる。

今、自主防災組織の設立・活動の支援や行政防災部門との連携による地域防災の活動指導員（リーダー）の育成など、北は宮城県、南は鹿児島県を飛び回って、官民連携型で地域防災力を高める活動の支援を行っている。

☆平成23年5月から社会福祉法人錦江保育園にリスクコミュニケーション研究室を開設、小さな子供たちからお年寄り（災害時要援護者）を守るための危機管理対応をアドバイス。

### 委員会活動等（平成21・22年度分）

- ・平成21年度山口県周防大島防災センター運営委員
- ・平成21年度消防大学校 自主防災組織育成短期講習会 講師（H22・H23）
- ・平成21年度佐賀県 地域リーダー研修 災害図上訓練指導 講師
- ・平成21年度熊本県自主防災リーダー研修会「火の国防災塾」災害図上訓練 講師
- ・平成21年度宮崎市赤江地区防災研修会 災害図上訓練 講師
- ・平成22年度島根県自主防災リーダー研修会 災害図上訓練指導 講師
- ・平成22年度防府市7.21豪雨災害検証委員会 委員
- ・平成22年度防府市社会福祉協議会 災害防災活動支援コーディネーター
- ・平成22年度山口市災害ボランティアセンター設置運営マニュアル作成委員会委員 他

### 所属団体（受賞）

- 防府／防災ネットワーク推進会議
  - ・平成18年度 防災まちづくり大賞 消防庁長官賞受賞（総務省）
  - ・平成19年度 河川協会 河川功労賞受賞  
(日本河川協会：国土交通省中国地方整備局推薦)
  - ・平成20年度 災害関係功労者表彰 受賞（国交省中国地方整備局）
- 個人：平成22年度 防府南ロータリークラブ優秀職業人表彰 受賞

※特定非営利活動法人ぼうぼうネット TEL/FAX 0835-21-2212

ホームページ：<http://www.boubounet.jp/>